

# 座・ガモールファーム 通信

Vol. 39 | 2026.3.01



活動の詳細は裏面にて

埼玉校舎で育つにんにく

## 春の始まりを告げる暖かな日差し

### 早春の候

今年度も最後となりましたが、今月も私たちは様々な活動を行いました。先月21日に開催されたNPO法人豊島NPO推進協議会主催の社会貢献活動見本市では、キャンパス農園班がポスター展示を行いました。このポスターは続く28日に大正大学にて行われた第17回全国校区・小地域福祉活動サミットinとしまでも展示され、多くの方にキャンパス農園班や

座・ガモールファームの活動について知っていただく機会となりました。次年度は新しく情報科学部が設立されることもあり、私たちの活動も新たな展開が期待されます。

先日からメールでのニュースレター配信も始まり、私たちの活動について改めて知っていただいた方も多いかと思えます。皆様、来年度も座・ガモールファーム通信をよろしくお願いたします。

(山本)



サミットではポスター展示を行なった

※本ニュースレターは、JST「流域治水を核とした復興を起点とする持続社会」地域共創拠点活動の一環として発行しています。座・ガモールファーム通信のバックナンバーを含むプロジェクトの概要は右のQRコードからご覧ください。



# 今月の活動

## キャンパス農園班

3月に入り、ようやく春の訪れを感じる暖かさになってきました。花粉症の方にはつらい季節ではありますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。地域創生学部地域創生学科2年の野沢奏です。

早いもので今年度も最後の月となりました。今月号は2月に行われた味噌作りと社会貢献活動見本市について紹介します。

味噌作りは8年ほど前から始めており、農園班にとって冬の恒例行事となっています。

一から手作業で仕込む工程は、想像以上に根気のいる作業でしたが、食の循環や伝統的な保存食の知恵を肌で感じる貴重な時間となりました。

これからじっくりと時間をかけて熟成させ、おいしい味噌が出来上がるのを班員一同楽しみに待っています。完成した際には、また皆様にご報告できればと思います。

また、先日豊島区役所で開催された「社会貢献活動見本市」に出展してまいりました。

学外の方々や他団体の皆様に向けて、キャンパス農園班のこれまでの取り組みを発表し、多くの温かい激励や貴重なアドバイスをいただきました。

自分たちの活動がどのように地域社会と繋がり、貢献できているのかを客観的に見つめ直す良い機会となりました。豊島区内にはこれほど地域に貢献しようと頑張っている企業や団体の皆さんがいることを改めて実感し、私をもっともっと頑張らなくては行けないと痛感しました。ここで得た学びを、次年度の活動にしっかりと活かしていきたいと考えています。

私事ではございますが、4月からは私も3年生になり、大学生活も後半戦に入ります。

皆様も年度の切り替わりでお忙しい毎日を過ごしているとは思いますがどうぞお体ご自愛ください。



社会貢献活動見本市で展示したポスター

## 座・ガモールファーム



テラスに植え付けたホップの地下茎

3月になり、春らしい暖かさが感じられるようになってきました。それに合わせてテラスで栽培している玉ねぎやスナップエンドウが一気に成長してきました。また、先日テラスでは水研クリエイト株式会社の協力のもと、ホップの栽培を新たに始めることになりました。上の写真はホップの地下茎で、ここからつるが伸びていき育てていくようです。テラス横のブラックベリーなどを栽培している場所に植え、柵に合わせて這わせていく計画ですが、初めての栽培なのでうまくいくことを期待したいです。私たちは現在銀座ミツバチプロジェクトとの連携により、栽培しているさつまいもを焼酎にしてみようという取り組みをしていますが、次はビールもできるかもしれません。

埼玉校舎では大根、かぶ、にんじんなどの収穫が終わり、レイズドベッドの方はしばらくお休みです。畑の方ではにんにくが冬の寒さを乗り越え少しずつ成長してきました。4月ごろになるとニンニクの芽が収穫できるので、ひとまずこちらを楽しみにしたいところです。

今年度もあっという間に終わってしまいそうですが、ガモールファームは来年度も様々な野菜を育てていく予定なので、皆様ぜひ遊びにきてください。

(山本)

## 詳細はこちら

座・ガモールファームの詳細はこちらから見るができます。Instagram、note、YouTubeに画像や動画がたくさんあり、Twitterではイベント告知をするのでぜひご覧ください。

